



2024年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマノホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長兼CEO 山野 義友
(コード番号7571 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員
管理本部長 岡田 充弘
電 話 番 号 03-3376-7878

2024年3月期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2024年3月15日に公表しました2024年3月期の連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また当社は個別業績予想を開示しておりませんが、当社の個別決算における当事業年度の実績値が前事業年度の実績値から一定以上変動しましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想との差異について

(1) 2024年3月期連結業績予想と実績値との差異 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,900	百万円 100	百万円 100	百万円 0	円 銭 0
実 績(B)	13,837	100	102	△28	△0.83
増減額 (B - A)	△62	0	2	△28	—
増減率 (%)	△0.5	0.9	2.1	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	13,904	297	286	173	4.98

(2) 差異の理由

売上高については、和装宝飾事業において、受注は想定よりも伸びたものの、加工や検品作業の遅れ等により一部商品の引き渡しに影響があったため、予想をやや下回りました。利益面については、グループ全体においてコスト削減に努めることにより売上減による売上総利益の減益をカバーし、営業利益及び経常利益はほぼ前回予想通りとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、本日別途「特別損失並びに繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」で開示しましたとおり、固定資産の減損損失33百万円の計上やリユース事業子会社の業績が計画より未達となったことに伴いのれんの減損損失34百万円を計上したこと等があり、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を若干下回る結果となりました。

2. 個別業績の前期実績値との差異について

(1) 2024年3月期通期個別業績の前期実績値との差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期(2023年3月期) 実績(A)	百万円 7,845	百万円 312	百万円 292	百万円 207	円 銭 5.95
当期(2024年3月期) 実績(B)	7,059	105	274	58	1.66
増減額 (B - A)	△785	△206	△17	△149	—
増減率 (%)	△10.0	△66.1	△6.1	△72.0	—

(2) 差異の理由

通期の個別業績につきましては、売上高は、美容事業の統合・強化を目的に実施したグループ内組織再編により、2022年10月1日付で連結子会社である株式会社ヤマノプラスに当社美容事業を譲渡した影響による減少があったことに加え、和装宝飾事業で見込んでいた下期のコロナ禍後の本格的な回復が不調であった影響もあり、前年を大きく下回りました。

利益面では、美容事業の譲渡による影響のほか、人件費・外注加工費などのコスト上昇があったこと及び和装宝飾事業及びDSM事業の売上が不調であったことによる売上総利益の減少があり、営業利益は前期実績を206百万円下回りました。経常利益は、連結子会社からの配当金186百万円の受領があったため17百万円の減益にとどまりましたが、本日別途「特別損失並びに繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」で開示しましたとおり、リユース事業子会社の株式評価損の計上91百万円や当該子会社に対する貸倒引当金を87百万円計上したこと等により、当期純利益は前年を149百万円下回る結果となりました。

以 上